

# 平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		事業コード		担当部課	部課コード	150500	2998-9253	
150505		埋蔵文化財資料管理事業		文化財保護課				
開始年度		昭和	50	年度	終了年度	年度		
		開始年度		昭和	50	年度		
事業の概要	事業の種類	自治事務		法定受託事務	法定受託 + 附加		根拠法令	
	分野別計画・指針	所沢市教育振興基本計画					文化財保護法	
	関連・類似事業						埼玉県文化財保護条例 所沢市文化財保護条例	
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	市民文化	基本方針	風土に培われた歴史と文化の伝承と発信	
事業開始の背景	昭和51年度から実施している発掘調査によって、市が保有する埋蔵文化財資料(遺物・図面・写真・図書等)は年々増加していた。それらを効率的に保存・活用するために体系的な管理を行う必要が生じた。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	埋蔵文化財資料(遺物・図面・写真・図書等)の保存・管理を行う。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	809,458	点		
	保管するすべての埋蔵文化財資料(遺物・図面・写真・図書等)			平成 27 年度	815,948	点		
事業の具体的な内容及び実施方法	埋蔵文化財資料(遺物・図面・写真・図書等)を収蔵庫・図面保管庫・図書室で保管し、汚れや破損及び資料散逸を防ぐ。カビが発生した写真フィルムの水洗処理を行う。遺物の保存処理・分析を行う。							
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			3,835	3,914	3,851		
	決算(見込み含む)			3,744	2,804			
	(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	( 0.50 人)	( 0.12 人)	( 0.30 人)	( 0.10 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
	正規職員人件費		0.46 人	4,012	0.30 人	2,598		
	事業費合計			7,756	5,402			
	財源内訳	一般財源		7,756	5,402	3,851		
	国・県支出金		0	0				
	その他( )		0	0				
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	写真フィルムの水洗処理	カビが発生したフィルムの水洗処理数	コマ	85	82	0	0
		発掘調査出土遺物数	27リットル入りテナ箱の合計数	箱	36	40	30	30
		寄贈図書数	新規に寄贈された図書の収蔵数	冊	756	996	800	800
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	保存処理・分析	出土遺物の保存処理・分析数	点	目標値	10	10	10
					実績	6	12	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図る <input type="checkbox"/> 実績縮小図る
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	60	120	どちらかをチェックしてください	
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	引き続き施設内の整理整頓を進め、収蔵スペースの確保を図った。							
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	理由	埋蔵文化財資料(遺物・図面・写真・図書等)は年々累積されていくが、貴重な資料を後世に伝えていくため、引き続き施設内の整理整頓作業を進めて収蔵スペースを確保していく。		
		<input type="checkbox"/> 終了		<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他				
評価	評価	次年度予算		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	発掘調査に伴う写真や図面は、撮り直しや書き直しのできない絶対無二の歴史資料である。今後も、引き続き図面保管庫等で大切に保管し、汚れや破損、また散逸することのないように管理していく。		
		(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性			
		これまでも細かな改善を図ってきたが、平成28年度は、収蔵庫及び図面保管庫の全面的な再整理作業を進めており、収蔵スペースの確保を図っている。			今年度の再整理作業によって、今後概ね10年間分の収蔵スペースは確保したいと考えている。			
評価日	H28.8.10		評価者職氏名	文化財保護担当参事兼文化財保護課長 木村立彦				
環境影響	有益な環境影響	5-4歴史・文化的環境の保全		有害な環境影響を及ぼす原因活動	遺物の永久保存のための薬品使用	規制を受ける環境法令等	無	
						緊急事態	無	